



キタセツは、いつもみんなのそばにいます

# しあわせ色

The colour of happiness 2017/ August #111

発行 株式会社キタセツ ●24時間電話対応  
発行人 北川 拓  
編集・企画 (有)スタジオワイルド **キタセツ** 検索  
〒143-0022 東京都大田区東馬込2-12-1  
**0120-81-4415**  
■営業 / 9:00~18:00 ■ショールーム / 9:00~17:00  
■定休日 / 日曜・祝祭日・第2土曜・第4月曜



## Renovation Moreform

出会いから夢の実現へ

Congratulations

二世帯同居  
リフォーム  
満足リフォーム

## 築20年の3階戸建てを二世帯同居に改装。

7月にベビーの誕生を迎える〇様ご夫妻の二世帯同居のための全面リフォームのお手伝いをさせて頂きました。夢のいっぱい詰まった新しいご家族のお住まいを当社の中村と山口両プランナーが完成させました。

■詳しいことはホームページをご覧ください



山口菜緒



中村香織

マンションにお住まいだった〇様ご家族から、三階建ての一戸建て(鉄筋・築20年)であるご主人の実家を、二世帯の同居として全面改装したいとのご相談をいただきました。鉄筋構造のため木造と比べ工事の制約条件がありました。それらをクリアして理想の空間が完成しました。



キッチンから部屋が見渡せる

若いご夫婦には夢があり、その分だけ新しい住まいにはこだわりやイメージがありました。そのことは私たちプロにとっても刺激となり新しいアイデアや提案にも力が入ります。室内は〇様のお気に入りのブランドである「ロンハーマン風」にのりくエラストがありました。まずは中村がインテリア専用のサイトを紹介しますが全員でイメージの共有を図り決めていきました。

特に広い壁面を覆う壁紙のデザインは二転三転しましたが、最終的にはご希望に沿うことができました。室内ドアや照明、建材なども私たち二人とご夫妻が顔を突きあわせて談笑しながら設計を進めていきました。これから産まれるお子様の事を常に念頭に置いてプランを提案しました。家族がどこにいても



4名のコラボレーションで素敵な Moreform が完成！(左から)中村、ご夫妻、山口

キタセツはこの町のご家族が幸せを感じるリフォームのお手伝いをいたします。



カリモク家具提供



CONDE HOUSE 提供



CONDE HOUSE 提供

を配してみると、モデルハウスで見たあのイメージとの落差に愕然とした」という話があるのも事実です。

### 引き継がれていく家具と暮らし

素敵な家具のある部屋は、そこに住む人の幸せな時間を想像させます。暮らしの行(たまたま)まいをつくるのは家具。それらの家具からはこの部屋に暮らす人の思い、センス、価値観などの生き方を感じてしまうものです。欧米では、一般的な庶民の暮らしの中でも家具や生活具は大事にさ

られて、子から孫へと引き継がれていく文化があります。欧米は石の文化、日本は木の文化と言われます。最近では日本でもコンクリートの住宅が増えましたが室内はやっぱり木の素材にこだわる方が多いようです。

「しつらい」は備えるという点ではなく、装飾であり表現(ソフト)行為のことです。家具を設ける:家具は暮らしを幸せにして快適な時間を創りだしてくれれます。キタセツは、完成した空間にただ家具を置くという考え方はなく、「家具がしあわせに似合う空間」をイメージしながら提案して参ります。

●キタセツでは四国・四万十の松材を素材に特注のテーブルの製作を承っております。

# しあわせを設える。

お気に入りの家具に囲まれるリフォーム計画というのも素敵です

家具がしあわせに似合う空間をイメージして庭などに木が一本あるだけでお家の佇まいは美しくなります。樹木や草木によって四季折々の変化を楽しめるのは良いものです。私たち設計士はこのように木を配することを「設(しつらい)」と言います。

## 子屋 雅部 二つ折りのフォルダーをおすすめします。

●生活具の取扱い説明書などの整理



新しく購入した家電や設備器具に必ず付いてくる説明書。分厚い冊子になっていたり簡単な二つ折りになっていたり様々です。必要な時に直ぐ取り出して読める様に色々な整理の工夫をされているかと思えます。特にクリアファイル派という方は多いのではないのでしょうか?しかしこれが

意外と取り出しにくく、モコモコとして見映えも良くないのです。私がお勧めしたいのは二枚折の紙製のフォルダーです。テプラで名称を貼り付けて保管する方法です。シンブルで取り出し易く機器の変更にも差し替えが簡単です。見た目も木肌風で和みます。収納もやっぱり見映えが重要です。ぜひお試しください。

## 自分色のアクセサリと出会う

ピアスは子供時代に一度は遊んだことがあるという方も多いですね。手作り初心者でも扱いやすく、ハマると意外と奥が深いピアスは色々なアイデアで活用されています。キタセツのピアス教室で一粒一粒を糸で繋げてオリジナルアクセサリを作りましょう。

### カルチャー教室



キタセツで、新しい出会いを

お互いの気配を感じ、お母さんが料理をしながらカウンター越しに会話が出る。そして何よりも個々の室との回遊が可能となります。強度を守るために構造上取り外せなかった筋交いが広いリビングの目玉となるお洒落な窓のついたインテリアになりました。また、この他にも二階に暮らすご両親たちのことを考えて防音フローリングを採用しました。

工事が終わって感じたことは、まるで自分たちの部屋を作るように楽しみながらお手伝いをさせて頂いたことです。そしてご夫妻の手造りのインテリアアクセサリがこの部屋にとっても素敵に飾られていて嬉しくなりました。「モアフォーム」はお客様と素敵な人生プランを語り合うことから始まり、温かい絆を結び合い感動を得るリフォームです。〇様ご家族の快適な二世帯生活を心からお祈りいたします!



小樽運河にて

# 行ってきました北海道へ!!



旭川から層雲峡温泉、小樽を巡った一泊二日の社員旅行を報告します!

旭川空港に到着する頃、あいにくの雨。梅雨がないイメージの北海道ですが、実際には「蝦夷梅雨」と呼ばれる天候の悪い時期があるそうです。雨にもめげず一同がまず訪れたのは、「国際家具デザインフェア旭川2017」(別枠参照)。広い敷地内で、家具の元の家具やクラフトメーカーの展示会などが行われていました。モノづくりへのこだわりが詰まった家具や照明がずらりと並び、現



座り心地いいね!

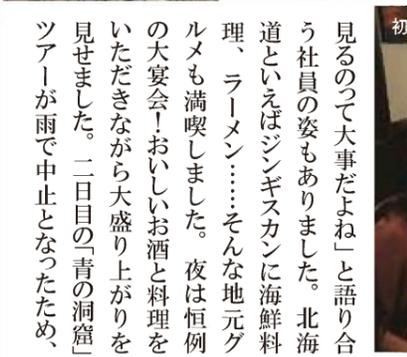
## 旭川家具とは

### 森の恵みをいかして

豊かな森林に囲まれ、良質な木材を資源として持つ旭川市。明治時代から木工業が盛んだこの町に、全国から夢と志を持った職人が集まり、優れた素材と確かな技術、そこに美しいデザインと機能が加わって、全国でも有数の家具産地として知られるようになりました。そんな旭川で「デザインは愛、木と暮らし」をテーマに1990年にスタートし、3年ごとに行われているイベントが「国際家具デザインフェア旭川」です。



旭山動物園



初日のジンギスカンランチ

見るのつて大事だよ」と語り合う社員の姿もありました。北海道といえばジンギスカンに海鮮料理、ラーメン……そんな地元グルメも満喫しました。夜は恒例の大宴会!おいしいお酒と料理をいただきながら大盛り上がりを見せました。二日目の「青の洞窟」ツアーが雨で中止となったため、

残りの時間は新千歳空港で過ごすことに。レストランやショップの充実ぶりに一同驚きながら、お土産を買い求めたり夕食を食べたり。「社員が和気藹々と楽しく過ごせるのが一番」という北川社長の目論見どおり、最後まで北海道を楽しみ尽くした二日間となりました。



層雲峡温泉にて

在企画中の当社一階のショールームの改装に向けて大いに参考になりました。そして何よりも、キタセツのリフォームの理念である「暮らしをイメージしてトータル提案する」ためのアイデアがたくさん得られたのは収穫でした。午後に訪れたのは、旭山動物園。動物をできるだけ自然な形で、さまざまな角度から見ることができると人気の動物園です。可愛らしい動物の姿に歓声を上げつつ、「物事をいろいろな角度から

選ばれるキタセツを目指して  
何かを変えるために、自分が変わる



# キタセツの工事部とは。

キタセツの八名の熱い男達、かれらはお客様のしあわせを形にする我が社の誇りです。

キタセツの品質をつくりあげる工事部の声をご紹介します。全員兄弟のようなチームワークがお客様からの信頼をいただき、全社一丸となって頑張っています。  
本間 住宅リフォームの工事は、設備の整った工場で行う仕事とは違い、人々の生活する場所(現場)でやる仕事です。だから思いがけない事や色々な予期しないトラブルは起こります。  
野口 そういうトラブルを避ける意味でも、現場を仕事しやすいキタセツの「工場」のような環境を整えることが先決です。環境とはお客様に迷惑をかけない状況のこと。そこで職人が仕事をしやすい雰囲気を作ることに。それが「工事部」の重要な役割だと考えています。  
本間 それでもある日突然、仕事する音や車の出入りする気配が始まるとやっぱりイヤな人もいます。いきなり胸ぐらをつかまれて「うるさい!」と叱られたことがあります。そんな時は我慢です。それか

ら工事が終わりその方が「中を見せてくれる?」と、照れくさそうに声を掛けてきたことがあります。仕上がりが綺麗だったから気になったとのことでした。(笑)  
谷口 僕は新人の一年生です。このキタセツでの一年は自分にとって中身の濃い充実した時間で多くのことを学びました。中でもコミュニケーションの大事さを感じてきました。一度、現場の住人の方に「他の会社の人とは挨拶しないけどキタセツさんは良く挨拶してくる!」と褒められたことがあって、とても嬉しかったです。  
野口 僕自身の手で工事をやることもありますが、「職人さんと呼ばれることには少し抵抗があります。もちろん職人さんの技術力が仕事の善し悪しを決



左から大熊、高橋、谷口、石川、本間、野口、佐野、高山

める重要な要因ではありませんが、仕事の「クオリティー」とは工事全体の仕上がりの「品格」を指すのだと思います。  
本間 そうだと思います!キタセツのリフォームの品格をつくるために「工事部」があります。「誰が」ではなく「キタセツが施工したから安心」という信頼を得ることが大切だと考えます。  
谷口 それでも自分の名前を覚えて頂き「谷口さん!」と呼ばれると嬉しいです。僕はとにかく嘘はつかないこと、身勝手な行動は慎むように気をつけて



左から本間、野口、谷口

います。チームワークの中での自分の役割を常に考えているつもりです。  
本間 偉い!その後、お客様のお宅を訪ねたとき自分達が仕事した場所が大切に使われていることを知るとグッとくるものがあります。仕事とはやり終わりではなく、そこからお客様との物語(関係)が始まるような気がしています。  
野口 僕たちの仕事はお客様とそのご家族に明日への快適で楽しい暮らしを作つて差し上げることだと思っています。そこに自分ながら小さなプライドと達成感を感じています。

この言葉を今の若い人は知っているでしょうか。広辞苑には「気持ちを入れて手を掛けて作りあげる」と書いてあります。日本は高度成長で六〇年代頃から効率的に一定の品質を大量に作る時代が変わつてきました。この「こしらえる」という言葉も一緒にこの時代から消えていったような気がしています。キタセツは原点に立ち帰り手を掛け気持ちを入れて作り込む「こしらえる」を「リフォーム」を目指そうと思います。



忙中  
雑感  
こしらえる。  
代表、北川拓